

体育施設等指定管理者ミズノグループの評価 【評価委員総括表】

目的：地域住民の心身の健全な発達及び体育・レクリエーションの普及振興を図る

評価日：令和6年12月23日

評価対象期間：令和6年4月1日～令和6年9月30日

評価項目		評価視点	評価点
1	施設の活性化	・利用者に対して、有益で魅力的な施設等の提供（岐南町総合体育館・岐南町町民運動場・岐南町スポーツセンター・岐南町防災コミュニティーセンター） ①施設の利便性を向上させる取組みが、適切にされているか ②利用促進を図る広報・ホームページ・チラシ等、幅広いPRがされているか	3.5点
		・創意工夫に満ちた新規自主事業の実施がされているか ・利用者のニーズにあった幅広い自主事業が、実施されているか	3.8点
2	サービス向上	・窓口・電話等での接遇・案内等は、適正に行われているか ・利用者からの意見を、可能な範囲で施設の管理運営に反映させているか ・利用者に適切なサービス提供をしうる職員の配置・勤務体制となっているか ・個人情報保護について、法令遵守されているか	3.0点
3	施設設備の点検・維持管理	・施設設備を安全に運用するための点検・維持管理は、適正に行われているか	3.0点
4	管理経費の効率化	・施設管理に係る経費の効率化が図られているか	3.3点
合 計 点			16.6点
総 括 評 価（優：20.0点～17.1点 良：17.0点～12.1点 可：12.0点～7.1点 不可：7.0点～5.0点）			良

評価委員会の意見

○夏休み期間に1日預かり教室を開催するなど、スポーツに特化したイベントや自主事業に限定することなく、利用者の幅広いニーズに応じた柔軟なプログラムを展開し、地域コミュニティの交流の場を提供したところは評価できる。

○岐阜県ラグビーフットボール協会、岐阜ラグビーアカデミー、羽島郡二町教育委員会と連携してラグビー体験会を開催するなど、各種関係団体との連携の中で地域の活性化に寄与することが期待される企画を実現したことは評価できる。

○子育てサロンに参加する乳児をもつお母さん世代にチラシを配布するなど、幅広い層にイベント情報を提供することで施設利用者数の増加及び施設稼働率の改善に取り組んだことは評価できる。

○創意工夫に満ちた自主事業を積極的に開催にすることで収支状況の改善を図ってきたことは評価できる。しかし、収支の赤字が定着してしまったかのような近年の状況を考えれば、自主事業の実施による収入増を図るだけでなく、利用料金の改定や減免制度の見直しなどの問題にまで踏み込み、町と協議して今後の指定管理者制度の望ましいあり方を模索していただきたい。

○体育施設の個人利用を希望される方が増えているなか、団体利用以外の個人利用者の利便性の向上を図るよう、町と連携して具体的な改善策を検討していただきたい。

○利用者増加に向けた施策として、利用者が快適に利用できるような体育施設の環境改善に努めていただきたい。